

平成 27 年 12 月 20 日(日)

(第 25 号)

ワンネット通信

NPO ワンストップリーガルネット

発信者 理事長 大内田 治男

E-mail ouchidaoffice@kce.biglobe.ne.jp

電話 0942-39-0926 FAX 0942-31-5336

「私の農業人生」

ワンネット理事 久保田 寿

ワンネットの新しい事業として「市民いきいきセミナー」が始まり、その第 1 回目に「農業・農村」が取り上げられましたが、私にとって嬉しい限りです。ご承知の通り私は約 60 年間、農業一筋の人生を送っており、これまでを振り返り、またこれから改めて農業に取り組む意欲に満ち満ちています。

私がワンネットに参加したのは、大内田さん(現理事長)、杉野さん(現監事)などから「是非とも立ち上げに加わってほしい」という誘いを受けました。「資格も何もないので」と断ると、「ワンネットは市民が困っていることすべてに取り組む NPO を考えている。中でも、生活するうえで“食”が一番大事なこと。あなたが必要」と手を差し伸べられましたのです。

私は昭和 32 年、三井郡弓削村(現久留米市北野町)で両親と共に農業に従事しました。最初は米・麦からはじめ、10 年くらいして食生活の変化からネギ・ニンジンなどの野菜類、さらに収益性を考えてパセリ・オオバなどに切り替え、今はバジル、ミントなどのハーブ野菜をハウス栽培しています。平成 5 年に有限会社久保田園芸を設立し、北野町と大分県九重町に農場を持ち、従事者 30 人。主な出荷先は地元はじめ東京・横浜・名古屋・大阪などで、おかげさまで安定出荷体制を維持しています。

さて、私が大事にしていることは「人と仲良くすること」です。これは、私の母に^{ゆえん}所以します。

皆さんはポテト王・牛島^{きんじ}謹爾をご存知でしょうか。牛島^{きんじ}謹爾は三潞郡鳥飼村(現久留米市梅満町)出身で明治～大正時代の実業家。1888 年に渡米し、カリフォルニアの荒地を開拓して苦闘の末に良質のジャガイモ生産に成功。6 万エーカーを超す大農園を起し、ポテト王と呼ばれました。そこで働いたのが、母の父((私の祖父)です。母はそこで生まれ、5 歳までぐらいを過ごしています。その母の口癖が「人を大事にすること、仲よくすること」でした。アメリカでは“移民の子”のはずですが、みんなから可愛がられたのでしょう。この母の言葉を聞きながら成長し、母の心を私たちは受け継いでいると思います。その母は 3 年前、93 歳で天国に行きました。

私は今年、74 歳になります。筑後川・耳納連山に抱かれた恵まれた故郷で農業を営むことのできる幸せ、地域の皆さんと生活できる喜び、そしてワンネットの皆さんに仲よくしてもらう喜びは、何ものにも替えがたいものです。皆さん、これからもよろしくお願いします。

●理事会の結果を報告します。

27 年度第 2 回目の理事会を 12 月 9 日(水)16 時から「みんくる」で開きました。出席者は栗林武敏、田中貴教、有馬良信、古賀隆広、橋口紀代子、久保田寿、神野聖二郎、杉野琢美、平野英二郎(敬称略)の各役員。大内田治男理事長が急きよ欠席のため、栗林副理事長が議事進行に当たりました。

議事の内容は、10 月 15 日の通常総会で議決された事項の執行に関する事。第 1 に取り上げたのは、新企画の市民向け「市民いきいきセミナー」についてです。

新しいセミナーは、高齢者に照準を当てた「老後いきいきセミナー」から対象を広げ、市民生活をする上で少しでも納得いく生き方をしてもらうために役立つテーマを選び、市民のみなさんと一緒に勉強していくことにしました。そして、第 1 回は「農業・農村」を取り上げました。

これは、①久留米が農業都市であること ②農業は、食糧生産という役割と合わせて環境保全、癒し効果など市民生活を送るのに大事な役割を持つ ③しかし、農業の衰退、農村の過疎化・高齢化は著しい。そこで、農家・農村に住む人だけでなく、都市生活者がもっと身近に農業・農村を見つめる必要がある ④「暮らしの無料相談」を展開するワンネットは、農業・農村の実態を理解し、そこから持ち上がる諸問題に取り組むことが大事、ということです。そして、次の日程(別添セミナーチラシ参照にて省略します)で開催することを説明し、出席者のみなさんから力強い応援をいただきました。

そのほかの議題は、「役割分担と事務局体制について」、「役員改選について(現役員の任期は 28 年 10 月 30 日までであること)」、「専門業種のグループ活動支援について」でした。

そして最後に「その他」として、次のような意見交換がありました。「会運営の努力には敬意を表す。これをさらに安定させるには、財政の確立が不可欠である」「補助金の検討や寄付金の増加策、また賛助会員加入の呼びかけなども一つの考え方ではないか」等など、より安定した会を目指した運営への貴重なご意見の数々でした。

●12/13 の内部研修

1 月 24 日の「農業・農村セミナー」を前に 12 月 13 日(日)16 時から「みんくる」で、藤枝國光九州大学名誉教授、中村誠治福岡県議会議員の両講師をお招きして内部研修会を開催しました。参加者は 11 人でした。

中村県議は「今、地方創生が叫ばれているが、久留米は筑後川の環境と農業にしっかり軸足を置いて内発型の産業強化で人口減を食い止めることが大事である」と力説。高水準の医療ツーリズムなどと共に、久留米の特徴をさらにメリハリをつけたものにする必要性を説きました。

藤枝先生は、輝かしい研究活動をお持ちで、また教育者として我が国の多くの野菜研究者を育ててこられた野菜品種改良分野における第 1 人者。ここでは、「農政新時代の施設園芸について」と題して、プロジェクターを使って熱く語っていただきました。

NPO ワンネット「市民いきいきセミナー」

農業・農村をもっと身近に

故郷の自然と ぬくもりに目を向けよう

久留米は、日本屈指の農業のまちです。
食糧生産という役割と合わせて、多面的な
機能や筑後川・耳納連山などの大自然が、
私たちに豊かな恵みを与えてくれます。

しかし、農業の衰退、農村の過疎化・高齢化
は誰もが認めるところです。

農業・農村に目を向け、故郷をもっと身近に
することから始めましょう。



受講無料 予約不要

日時

平成 28 年 1 月 24 日(日)
14 時～16 時 30 分

場所

えーるピア久留米 301・302 研修室

講師

九州大学名誉教授
農学博士 藤枝 國光 先生
福岡県議会議員 中村 誠治 先生

主催 NPO 法人 ワンストップリーガルネット
電話 0942-39-0926 (大内田事務所内)

後援 久留米市

会員のみなさんの、ご支援をお願いします。

＜農業・農村セミナーの広報活動について＞

当セミナー事業に対する久留米市の後援が 12 月 16 日に決定されたことを受け、本格的な広報活動を始めました。まず、「広報くるめ」1 月 1 日号にお知らせ記事が掲載されます。また、チラシを 600 部印刷し、できれば年内に市の総合支所、市民センター、えーるピア、農政部関係、「みんくる」などに備え付けてもらいます。報道各社にも年明け早々、広報依頼に回るつもりです。

会員のみなさん、お心当たりの方への声掛け、チラシの配布などのご支援をお願いします。

●12 月の無料相談会、公証業務相談

12 月の「暮らしの無料相談会」は 12 月 9 日(水)10 時 30 分～15 時、市民活動サポートセンター「みんくる」で開催。相談を受けたのは、久留米公証役場・田村隆平公証人と 15 人のワンネット会員。相談員は、中村妙、橋口、栗林、平木、久保田、松枝、平野、森、古賀隆、古賀信、寺田、杉野、田中、後藤、仲家の各会員でした。

相談に訪れた人は 22 人。相談件数は合計 24 件。内容は遺言・相続 7 件、成年後見 2 件、離婚 2 件、年金 1 件、その他 12 件(内訳は婚約破棄、土地開発による家屋被害、貸金トラブル、死後事務、交通事故、ローン返済など)でした。みなさん、お疲れさまでした。

次回は 1 月 13 日(水)。受付当番は執行、有馬両会員です。よろしくお願いします。

また、12 月の公証業務相談は 12 月 16 日(水)14 時からの予定でしたが、相談予約がなく、開催されませんでした。次回は、1 月 20 日(水)14 時から。担当は田村公証人と橋口会員の予定です。よろしくお願いします。

●寄付のご報告

ワンネットに対する寄付についてご報告します。寄付は、ワンネット会員と会員外の方からもあり、次のとおりです。ご寄付、ありがとうございました。

(敬称略)

受取日	お名前	金額(円)	内訳
27 年 12 月 2 日	坂井 真吾	5,000	業務受託
12 月 4 日	平木 正史	20,000	業務受託
12 月 13 日	藤枝 國光	10,000	講師謝金を寄付
12 月 13 日	中村 誠治	10,000	講師謝金を寄付

「ワンネット通信」に対するご意見、ご感想をお待ちしております。

また、メール配信を希望される会員は、アドレスを付けて申し出てください。